

ALL TAKAMORI is for CHILDREN 第108号



～学校支援地域本部は地域に作られた学校の応援団です～

2025年2月21日

2月に入り、今季最強・最長寒波・日本海側で記録的な大雪！と報じられるような寒い日が続いています。2月7日には、「高森西公園にツキノワグマが！」2月11日には、「強風の影響で司や高森店前で高さ5mの街路樹が根元から倒れる」そして、2月17日には、「高森中央公園から高森小学校につながる遊歩道で枯れ草が燃える火事」と、ニュースが報じられました。どれも大事には至らずに済みましたが、身の回りに何が起きるのかわからない今日この頃です。皆様、くれぐれも体調管理・火の用心・転倒注意に気を付けてお過ごしくださいね。

1/25 高森児童センター『おたのしみ発表会』

オープニングでは、高森中学校吹奏楽部が子どもたちが楽しめる曲で会場を盛り上げてくれました。地域の方々、保護者の方々が見守る中、音楽クラブ・コマクラブ・ダンスクラブの児童が日頃の練習の成果を発表してくれました。



2/5 高森中学校区健全育成会第3回役員会

今年度、健全育成会で作成した、『すこぼら隊』のビブスのぼり旗が大活躍の1年でした。「あいさつ運動」「花植えネットワーク」「パークタウン一斉清掃」とグリーンのビブスが光っていました。ALL高森の各団体の皆様よりの近況報告があり、寺岡交番長からは、「子どもの虐待」「ネットラブル」「SNS詐欺」について注意喚起をいただきました。

高森の子どもたちが、安心・安全に過ごせるのも地域の皆様のお陰です。本当にありがとうございます。



2/18 令和7年度第1回学校運営協議会 ～高森小コミュニティスクール～



令和7年度のスタートに当たり、委員11名に委嘱状が交付されました。校長先生より高森小グランドデザインを説明をしていただき、委員がそれに対しての意見を交換しました。重点目標である「自分から元気よく挨拶をすることができる子供」を育成するには？

「生活の基本である「あいさつ」が子どもたちが自然にできるようになるためには大人がまず見本を示さずこと」「もっともっと挨拶がび交う地域になってほしい」「小さいことでも子どもたちをほめてあげよう！」との意見に、心から子どもたちの成長を願う委員の方々の熱意を感じました。

2/18 第2回高森中学校 学校運営協議会

自分づくり教育 1年生「職業講話」に長澤歯科医院長の長澤裕先生をお招きして「10代のみなさんに伝えたいこと」をお話していただきました。歯科医をされていて大事に思っていることは『姿勢』であること。姿勢や寝相が悪いと体が歪み歯並びが悪くなってしまうことを、実例を紹介しながら説明していただきました。そして、ダーウインの「強いものが生き残るのではない。変化に対応できるものが生き残るのだ。」という言葉、今回のテーマ「将来に向けてどんな力を身に付けなくてはいけないか」を考えるきっかけにしてくださいました。

講話を聞いた後のグループワークには、高森中学校の学校運営委員の他に高森小・高森東小の委員の皆様・地域の皆様がファシリテーターとしてご参加下さり、15の輪ができました。

「姿勢が大事だと思った。」「寝ながらのスマホはやめようと思った。」「将来何になるか、まだ決まっていな、勉強頑張ろうと思う。」「いろんなことに挑戦したい」「クラスや部活動の仲間を大切にしたい。」と考えを述べる姿から、中学生としての自覚を知ることができました。

ご参加下さった地域の皆様からは「娘と同世代の子どもたちの貴重な意見が聞けて良かった。」「あらためてオール高森のマンパワーの豊かさを出席者側から感じました。」との感想もいただきました。緊張しながらも、発表した生徒、代表でお礼の言葉を述べた生徒、司会の生徒に拍手を送りたいと思います。教室に戻ってからの感想も楽しみです。



2/6 高森小感謝の会



日頃、子ども達の為にボランティアをして下さる地域の皆様と共にご招待いただきました。給食時に、テレビ放送にてご紹介いただき、児童から1人1人にお礼のお手紙を読んでいた、とっても嬉しかったです。

2/13 高森東小

地域から5名の皆様がボランティアにお越し下さり寄贈していただいて学校に保管してある『ひな人形』の飾り付けをしてくださいました。



広報誌『ALL TAKAMORI』は、毎月20日頃に発行し、高森小・高森東小の全ご家庭と地域回覧で皆様にお届けしています。高森小・高森東小・高森中ホームページ「お便りコーナー」からもご覧いただけます。



高森中学校区学校支援地域本部

高森小学校学校支援地域本部スーパーバイザー 横山 倫子

高森東小学校学校支援地域本部スーパーバイザー 大泉 ルミ